

《株主総会》
株主「会社の今年の利益はどうなっていますか？」 社長「説明します。」

4. 証券会社、証券取引所ってなんだろう？

<問7>

株式を持っている人が株式をお金にかえるには、どうしたらいいでしょうか？あてはまる方の（ ）に○をつけましょう。

- () ①株式をその会社に買い取ってもらう。
- () ②その会社の株式をほしがっている人に売る。

会社は株式を買い取ってくれません。株式を持っている人が株式をお金にかえるためには、その株式をほしがっている別の人に売ることになります。でも、株式を売りたい人は簡単には見つかりません。そこで、株式を売りたい人と買いたい人をつなぐ役割をしているのが証券会社と証券取引所です。

<問8>

下は株式の売り買いの図です。株式の流れ、お金の流れの矢印を色鉛筆でぬりましょう。

証券会社は全国の売りたい人や買いたい人の注文を取り次ぎ、証券取引所に注文を出します。

証券取引所には証券会社を通じてたくさんの売り買い注文が集められ、売り買いの相手を見つけやすくしています。

このように証券会社を通じて会社の株式を買くと、新たに株式を買った人が株式を売った人にかわってその会社の株主になります。

・「意見を言う」ことについて、イラストで確認させる。

・教師が問題文を読む。

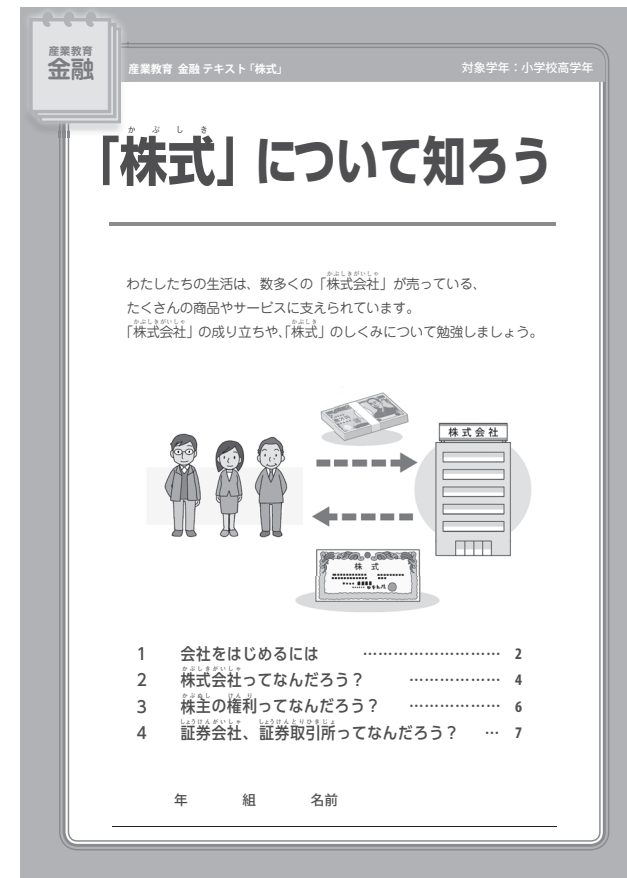
- ・選択肢を教師が読み、難しい言葉があれば、教師が簡単に説明する。
- ・どちらかに○をつけさせる。
- ・何名かを指名し、答え合わせをする。
- ・教師が説明の文章を読む。
- ・「証券会社」「証券取引所」の2つの言葉は、子どもに復唱させる。

- ・教師が問題文を読む。
- ・下のイラストから「株式を売りたい人(株主)」「株式を買いたい人」「証券取引所」「証券会社」の4つの言葉を確認する。
- ・難しい言葉があれば教師が簡単に説明する。
- ・赤鉛筆と青鉛筆を出させる。子どもがもっていなければ、2つの違う色を出させる。
- ・教師が説明の文章を読む。
- ・左側の「株式を売りたい人」から右側の「株式を買いたい人」までの株式の動きを確認し、矢印を青鉛筆でぬらせる。
- ・終わったら、右側の「株式を買いたい人」から左側の「株式を売りたい人」までの株式の流れを確認し、赤鉛筆でぬらせる。
- ・教師が説明の文章を読み、子どもに復唱させる。

《指導にあたって》

- 問題文や説明の文は、適宜子どもたちに音読させる。その際、難語句があるので、教師が範読した後で子どもたちに読ませることが望ましい。
- 子どもたちの作業には時間差が生じる。そのために、次のような手立てをとり、時間差をうめるようにする。
 - ・早く終えた子に発表させる。
 - ・早く終えた子に読ませる。
 - ・早く終えた子に板書させる。
 また、発表させたり、板書させたりすることで、わからない子の参考にさせる。
- 答えを書かせたら、手を挙げさせたり、発表させたりして、確認をする。

「株式」について知ろう



産業教育研究会
服部 賢一

1. 対象学年：小学校5・6年（1～2時間）
2. ねらい：身近な例を挙げて「株式」について知らせ、関心をもたせる。
3. 進め方：テキストの通りに進める。テキストの発問を読み、子どもたちに答えさせていく形である。テキストを1枚ずつコピーして配布していく形で進めてもよい。

主な発問・指示	指導上の留意点
<p>《テキストの表紙より》 わたしたちの生活は、数多くの「株式会社」が売っている、たくさんの商品やサービスに支えられています。「株式会社」の成り立ちや、「株式」のしくみについて勉強しましょう。</p> <p>1. 会社をはじめするには</p> <p>< 問 1 > もしあなたが会社をつくるとしたら、どのような会社をつくりたいですか。つくりたい会社を書いてみましょう。</p> <p>< 問 2 > その会社をつくるとしたら、どんなものが必要になりますか。必要になると思うものを書いてみましょう。</p> <p>会社をつくるには機械を買ったり、仕事場を借りたり、社員に給料を支払ったりするために、とても多くのお金が必要になります。</p> <p>< 問 3 > もしあなたが会社をつくるとしたら、どうやってお金を集めますか。思いつくことを書いてみましょう。</p> <p>お金を集めるには大きく2つの方法があります。うすい文字をなぞりましょう。</p> <p>A 銀行から借りる 会社が銀行からお金を借りる場合は、借りるときに決められている期限までに借りたお金を全部返さなくてはなりません。また、お金を借りた会社は、もうけが出なくても、銀行に利息を払わなければなりません。 例) 100万円借りて、1年後に103万円を銀行に返します。(利息3万円)</p> <p>B 株式を発行する これからBの「株式を発行する方法」をくわしく考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • テキスト表紙を読み、今日勉強することを知らせる。 • 教師が問題文を読む。 • イラストを参考につくりたい会社を考えさせ、テキストに記入させる。 • テキストに書いた子何名かを指名し、発表させる。 • その際、具体的な会社の名前でも良いし、「〇〇をつくる会社」「〇〇の人のために△△をする会社」のような言い方でもよしとする。 • つくりたい会社を複数思いついた子には、①～、②～と書かせる。 • 列指名で発表させる。 • 教師が問題文を読む。 • イラストを参考にさせ、必要なものをテキストに書かせる。 • 隣の人と相談させても良い。 • 列指名で「会社名」と「必要になるもの」を合わせて発表させる。 • 教師が説明の文章を読み、子どもに復唱させる。 • 教師が問題文を読む。 • 隣の人と相談させても良い。 • 思いついたことをテキストに書かせる。 • 何名かに発表させる。 • 思いつかない子は、発表で出たものを参考にテキストに書かせる。 • 教師が説明の文章を読む。 • 「A 銀行から借りる」を教師が読み、復唱させる。 • 説明文は良いので、教師が読み聞かせる。 • 「B 株式を発行する」を教師が読み、復唱させる。

主な発問・指示	指導上の留意点
<p>2. 株式会社ってなんだろう？</p> <p>< 問 4 > ここでは株式について勉強しましょう。うすい文字をなぞりましょう。</p> <p>会社をつくるにはお金が必要です。会社は「もうかったら、もうけた分から分け前をあげるから、お金を出してください。」といって、お金を出してくれる人をたくさん集めます。</p> <p>会社は、会社をつくる時、お金を出してくれる人に、お金を出してくれたことの証明として株式を渡します。会社は集めたお金を返す必要はありません。また、会社はもうけが出たら、もうけた分の一部を、お金を出してくれた人たちに渡します。</p> <p>会社をつくる時、お金がたくさんあった方が、より大きな仕事ができるようになります。</p> <p>< 問 5 > 下の説明の㊦、㊧に入る言葉を□の中から選んで書きましょう。</p> <p>株式会社 株主 会社にお金を出して、株式を受け取った人のことを、(ア)といいます。 株式を発行することによってお金を集め、仕事をする会社のことを、(イ)といいます。</p> <p>3. 株主の権利ってなんだろう？</p> <p>< 問 6 > 株主の権利にはどのようなものがあるのでしょうか。あてはまると思うものを2つ選んで、() に○をつけましょう。</p> <p>() ①その会社で仕事ができる。 () ②会社のことを決める会議に出席できる。 () ③社長になることができる。 () ④会社がもうかったときの利益の一部をもらえる。</p> <p>株主には主に、次の2つの権利があります。 1 配当がもらえる 株主は、お金を出したお礼として、会社が1年間に手に入れた利益の一部を会社からもらうことができます。「会社がもうかったときにもらえる分け前」のことを「配当」といいます。</p> <p>2 株主総会に出席できる 株主は会社の重要なことを決める会議（株主総会）に出席して、意見を言ったり投票したりできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 教師が問題文を読む。 • ゆっくりとていねいになぞらせる。 • 「お金を出してくれる人」から「会社」へ、指で指しながら確認させる。 • 「会社」から「お金を出してくれる人」へ、指で指しながら確認させる。 • 「株式」をゆっくりとていねいになぞらせる。 • 教師が説明の文章を読む。 • 教師が問題文を読む。 • 教師が枠内の文章を読む。 • (ア)に入る言葉を、<株式会社と株主>のイラストを参考にしながら記入させる。 • (イ)に入る言葉を、<株式会社と株主>のイラストを参考にしながら記入させる。 • 何人かを指名し、答え合わせをする。 • 教師が問題文を読む。 • 選択肢を教師が一度読む。 • 難しい言葉があれば、教師が簡単に説明する。 • 選択肢を教師が一つずつ読み、子どもに2つ○をつけさせる。 • 教師が説明の文章を読む。 • 「1 配当がもらえる」を教師が読んだ後、子どもに復唱させる。 • 教師が説明の文章を読む。 • 下のイラストを見て、お金の流れを矢印を追って確認する。 • 「2 株主総会に出席できる」を教師が読んだ後、子どもに復唱させる。 • 教師が説明の文章を読む。